

Toshio Mori &

森 寿男 & ブルーコーツオーケストラ

高知市文化プラザかるぽーと自主事業

Blue Coats

Orchestra

in 高知

四国初上陸!

Flyin' Cab

10.27²⁰¹³ sun.

高知市文化プラザかるぽーと
(大ホール)

昼の部 / 開演 13:30 (開場 13:00)

夜の部 / 開演 18:30 (開場 18:00)

前売り 4,000円 / 当日 4,500円 (全席自由)

堀江真美

佐藤マサノリ

JAZZ & POPS

森 寿男 & ブルーコーツオーケストラ

ムーンライト セレナーデ
茶色の小びん
インザムート
キャラバン
A列車で行こう

with 堀江 真美

スペシャルゲスト 佐藤 マサノリ
(Flyin' Cab)

パパ ラフス マンボ
私の青空
夢であいましょう
ワン オクロック ジャンプ
カモナマイハウス

曲目は変更になる場合がございます

お問い合わせ
高知新聞企業 事業企画部

tel 088-825-4328 (平日9:30~17:30)

チケット 前売り券発売所

高知プレイガイド・県立美術館・高知市文化プラザミュージアムショップ・高知大丸プレイガイド

主催: 高知新聞社 RKC高知放送

共催: 高知市文化プラザかるぽーと

後援: 高知県教育委員会/高知市教育委員会
高知県吹奏楽連盟

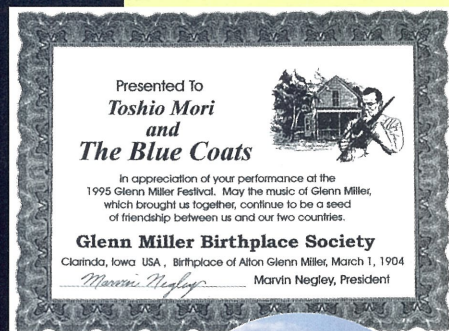
協力: 堀江真美 Rich Heart 倶楽部

JFMA 一般社団法人 日本ポピュラー音楽協会

1946年結成 最も長い歴史と伝統を持つ日本最古のビッグバンド!

Blue Coats

和製グレンミラー・オーケストラ



グレン・ミラーの妹 アイリーンさんと
森 寿男



Mami Horie
堀江 真美

高知県観光大使

地元高知市で10代でプロ入り、'70年代後半に上京して当時のニューミュージック界ですぐに評判を得る。山下達郎、荒井由美の楽曲提供でビクターからメジャーデビュー。

その後ジャズに転身、六本木ライブハウス時代の立役者の一人として活躍。'81年中牟礼貞則、福島照之等のサポートを得てアルバム「スマイル」発表。北村英治、世良譲、鈴木章二、ブルー・コーツ始め多くのビッグバンドで活躍。'94年に佐藤マサノリとのユニット「Flyin' Cab」で「日本ジャズボーカル賞」を受賞。作編曲としての評価、またボイストレーナーとして著名歌手をプロデュース影のヒットメーカーとして其の実力がかわれているほか、セサミプレイングのプロデューサーや映画音楽監督等、活動は多岐に渡っている。今、2013年に3,11の震災復興支援CD「君へ」は全国で話題となっている。

Guest Singer

ブルー・コーツオーケストラ最後の専属シンガーとして'70年代後半に活躍。

ディック・ミネ、藤山一郎等戦前戦後の歌謡スターと多くの共演経験を持ち、在りし日のグランドキャバレー時代を知る最後の世代。'90年代にはプロデューサーとして戦後のジャズの記録に取り組み制作面で手腕を発揮、一線を退いた。

スタンダードジャズはもとより低音ヴォイス時代の昭和歌謡を得意としたレパートリーが近年にわかに注目を集め活動再開、ブルー・コーツとは2010年の65周年を機にバンドシンガーとして復帰している。伝説となった堀江真美とのユニット「フライングキャブ」が今ネット上で噂となっている。



Masanori Satoh
佐藤 マサノリ

森 寿男 & ブルー・コーツオーケストラ

Blue Coats HISTORY

- 1946年** 戦後間もない頃ジャズ好きの六大学OB（初代リーダー長尾正士・2代目リーダー小原重徳等）によって結成され、発展した名門バンドである。その伝統の中には上品でアカデミックなサウンドが受け継がれていて、その中から黛敏郎・笈田敏夫・ナンシー梅木・秋吉敏子等数多くの有名な音楽家を輩出している。1949年からバンド名「ブルー・コーツ」を名乗る。
- 1970年** 芸大出身の森寿男が3代目リーダーを引き継ぎ、その伝統を継承すると共にカウント・ベイシー、デューク・エリントンの精神とフィーリングを追求し、音楽を通じて人の心に語りかける温かいサウンド作りを目標に、新発足する。現在まで、テレビ、ラジオ出演をはじめ、各地のジャズコンサート、ファミリーコンサート・学校公演等で活躍、一方華麗でムーディな演奏は、ダンスミュージックとしても親しまれ、ホテル等でのダンスパーティの出演も多く、和製グレンミラー楽団との呼び声も高い。
- 1994年** 結成45周年コンサート「華麗なるスイングジャズの世界」を開催、ブルー・コーツOBオーケストラや初代ピアニスト黛敏郎との共演で話題を呼んだ。
- 1995年** アメリカで毎年6月に開催されている「グレンミラー・フェスティバル」に招待され渡米、現地（アイオワ州クラリダ）の熱烈な歓迎を受けコンサートは大好評を博した。
- 1999年** ブルー・コーツ結成50周年を迎え、10月8日ゆうほうとにて、多彩なゲストを招き、華々しく開催。ブルー・コーツ半世紀の軌跡を、サウンドで表現し好評を博す。
- 2000年** 12月23日クリスマスディナーショーで来日中のサリナ・ジョーンズと共演。新世紀を迎えて、ますます幅広い演奏活動を続ける。
- 2004年** 1月リーダーの森がスイングジャーナル社の2003年度南里文雄賞を受賞。10月8日「ブルー・コーツ結成55周年記念ディナーコンサート」を開催。これを記念にブルー・コーツの歴史をまとめた本「ジャズに情熱をかけた男たち」（瀬川昌久著）が発売された。
- 2010年** 11月「ブルー・コーツ65周年／森寿男とブルー・コーツ40周年コンサート」を開催する。同時に65周年記念アルバム「スイングしなけりや意味がない!」がCAB RECORDSによって企画された。久々に、佐藤マサノリ、堀江真美がバンドシンガーとしてアルバム、コンサート共に参加。

